みなさまとともに
2026.9 新井しんきんの現況



妙高高原陸上競技場より

ARAI　SHINKIN　REPORT　2026.9

新井信用金庫

ご あ い さ つ

日頃、みなさまには格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

毎年、みなさまに新井信用金庫に対するご理解を深めていただく為に、３月末決算確定後に当金庫の経営方針や業務内容、業績等をわかりやすくご案内したディスクロージャー誌を作成し、半年経過した９月末時点での自己資本比率や不良債権等、主要な項目の現況についてご案内する為の資料を今年度も作成いたしましたので、新井信用金庫に対するご理解、ご信頼を一層深めていただければ幸いに存じます。

現下のわが国経済は、経済活動の正常化が進み、消費が回復することで景気の緩やかな回復基調が続いておりましたが、地震や台風、豪雨等の自然災害が頻発し、さらには地政学リスクの長期化により原油価格・原材料費・製品価格の上昇に伴い、生活用品・燃料費・食料品等の物価高騰の状況が続いております。また、米国をはじめ各国の各種政策により世界の株式市場、為替相場の不安定化に伴い、欧州、米国に続いて日本銀行も政策金利の引上げを実施しております。今後それらが世界そして日本の金融・経済に与える影響が懸念されています。

地元経済においては、インバウンド客の増加から、観光業や飲食業等の集客数は増加傾向にありますが、これまでの構造的問題に加え原材料や各種の価格高騰による調達コスト増加分を価格転嫁できるかが、地域経済の中心である中小企業の業況回復の課題となっています。そんな中、当金庫は外部支援機関の経営改善指導と公的資金利用等による各種支援体制の有効活用を皆様に提案、実践する事で地域経済状況の回復に努めてまいりたいと考えております。

私ども新井信用金庫は地域金融機関として信用金庫の使命役割を果たすべく、全役職員一同、尚一層の努力をして参りますので、今後とも変わらぬご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。

令和８年１０月

新井信用金庫

理事長 丸山利之

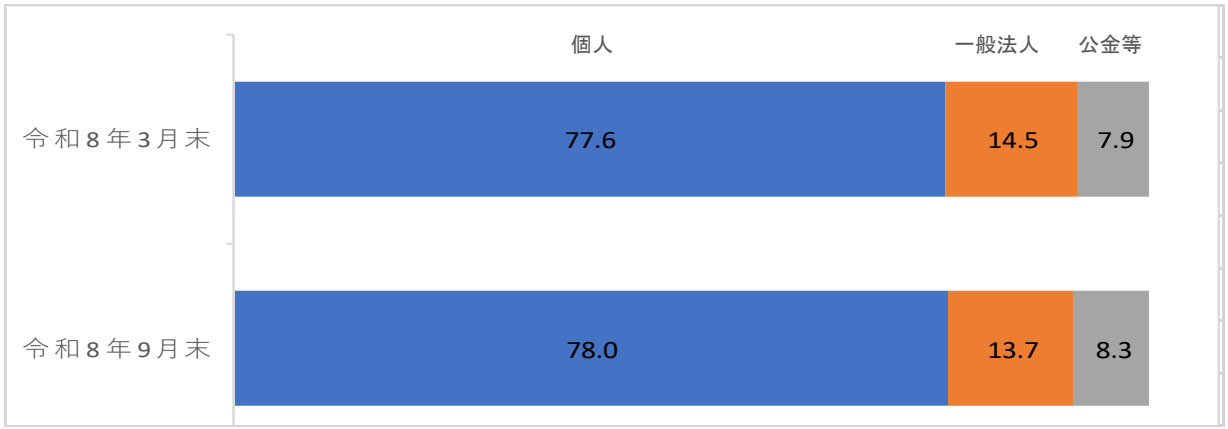


●主要な経営指標　　（単位：百万円）

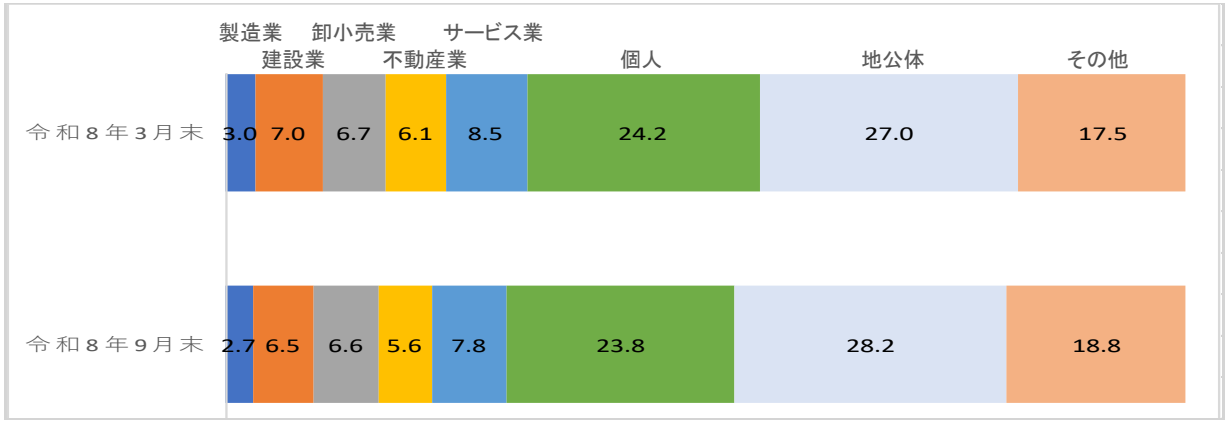
	令和８年３月末	令和８年９月末
自己資本（純資産額）	3,457	2,977
預金積金残高	115,594	113,293
貸出金残高	42,256	43,353
有価証券残高	55,286	54,163
総資産額	119,444	116,701
経常利益	136	63
当期純利益	122	62
自己資本比率	14.06%	14.26%

業務純益	△172	72
実質業務純益	△172	72
コア業務純益	424	234
コア業務純益（投資信託解約損益を除く）	424	234

●預金の内訳



●貸出金の内訳



●有価証券の時価情報　　（単位：百万円）

	令和８年３月末			令和８年９月末		
	帳簿価額	時　価	評価差額	帳簿価額	時　価	評価差額
その他有価証券	43,474	40,386	△3,087	42,890	39,263	△3,626
株　式	587	881	294	587	986	399
債　券	42,350	38,970	△3,380	41,660	37,642	△4,018
その他	536	534	△1	641	635	△6
満期保有目的の債券	14,900	13,549	△1,350	14,900	13,075	△1,824
合　　計	58,374	53,936	△4,437	57,790	52,339	△5,451

●自己資本比率

自己資本比率は14.26%です。

自己資本比率は、貸出金、国債、株式などの総資産のうち、万一の場合に損失の可能性がある資産(リスク･アセット)に対して、自己資本がどのくらいの割合であるかを表しています。又自己資本は、みなさまからの出資金や新井しんきん自体の利益積立金等からなっています。

国内のみで業務を行う金融機関(信用金庫等)は、自己資本比率4%以上の基準を満たすことが経営体質が健全で問題のない金融機関の条件です。

新井しんきんは、この基準を大きく上回っています。

	令和8年3月末	令和8年9月末
自己資本の額　①	6,959	7,022
コア資本に係る基礎項目の額	6,992	7,055
コア資本に係る調整項目の額	33	33
リスク・アセット等の額の合計額　②	49,486	49,227
自己資本比率　①÷②	14.06%	14.26%
単体総所要自己資本額	1,979	1,969
信用リスク・アセット、所要自己資本の額	1,865	1,854
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	114	114

● 不良債権の状況

金融再生法による開示債権額及び保全状況

新井しんきんの令和８年９月末時点の不良債権は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権１５５百万円、危険債権１，５３７百万円、要管理債権３５８百万円の合計２，０５２百万円です。

この不良債権の保全状況は、担保・保証等で１，２１８百万円、貸倒引当金で８０９百万円引当済です。

●金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	令和８年３月末	令和８年９月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	230	155
危険債権	1,554	1,537
要管理債権	368	358
正常債権	40,160	41,366
合　　計	42,314	43,419

●金融再生法開示債権保全状況

（単位：百万円）

		令和８年３月末	令和８年９月末
金融再生法上の不良債権（A）		2,153	2,052
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	230	155
	危険債権	1,554	1,537
	要管理債権	368	358
保全額（B）		2,122	2,027
	貸倒引当金（C）	823	809
	担保・保証等（D）	1,298	1,218
保全率（B）／（A）（%）		98.56	98.78
担保・保証等控除後債権に対する引当率（C）／（（A）―（D））（%）		96.37	97.01

●主な地域貢献活動、サークル活動

△中郷支店にてロビー展開催
書道教室の小学１年生から一般までの生徒さんの作品 32 点と、和紙アート アサガオの花をモチーフにした作品 8 点を展示。
色とりどりの作品が来店者の目を楽しませていました。（6 月 15 日～7 月 22 日）





△ファミリー映画上映会開催
夏休みの恒例行事となりましたファミリー映画上映会（今年は「SING ネクストステージ」を上映）を 8 月 23 日(日)新井文化ホールで開催いたしました。
たくさんの家族連れで好評でした。

△しんきんゴルフコンペ開催
9 月 1 日(火)妙高カントリー倶楽部にてしんきんゴルフコンペを開催いたしました。好天に恵まれ最高の一日でした。





△新信会「優良企業視察」を実施
9 月 15 日(火)に北陸方面優良企業視察を開催し、富山県広域消防防災センター四季防災館で地震体験・煙体験・暴風体験等の各種体験をしてまいりました。





●地域密着型金融の取組みについて

具体的な取組み内容

１．個々の課題に応じた取引企業の支援強化

地域の発展には、地元中小企業が健全に存続し発展していくことが重要であり、信用金庫は地域経済及び地域中小企業の発展のために、使命共同体として役割を果たしていくことが大切であると考えております。企業の経営改善支援に当たっては、決算書、試算書などの定量面のみで判断することなく、企業の技術力、地域力、経営者の考え、業況等強みや取引先個々の定性面を洗い出し、その上で取引先経営者と一体となり、事業改善計画、収支計画を策定しキャッシュフローの確保を目指した経営改善に取り組んでおります。

令和８年度は、経営改善重点対象先に 35 先を選定して金融円滑化対象先も含めてＰ．Ｄ．Ｃ．Ａサイクルにより経営改善に取り組んでおります。コロナ禍により多くの事業所で売上が大幅に減少し、厳しい状況が継続していますが、事業所と課題を共有し企業の実態把握に努め、継続的にきめ細かい指導や条件変更等、柔軟な姿勢でサポートに取り組んでまいります。

２．事業性評価によるタイムリーな資金供給

事業所への積極的な訪問活動により、取引先の企業実態を把握し、財務諸表のみにとらわれない事業性評価を行い、きめ細かな与信判断に努めております。

また、中東地域の情勢変化を受け、事業活動や資金繰り、輸出入取引、為替リスクなどへの影響に関する相談に迅速に対応するため、令和８年４月１日(水)から「中東情勢に関する相談窓口」を設置、令和８年７月 14 日から㈱全東信の破産手続開始決定を受け、同社の決済サービスを利用されている事業者の皆様が売上代金の遅延により、事業活動や資金繰りなどへの影響に迅速に対応するため「㈱全東信の破産手続開始に伴う相談窓口」を設置しました。

３．外部支援機関との連携

当地域では、依然として人口減少や少子高齢化、後継者不在による事業承継問題等、事業継続における厳しい経済環境や状況が続いております。地元企業の付加価値を高め、安定して事業が継続されるよう、新潟県よろず支援拠点、新潟県中小企業活性化協議会、新潟県事業承継・引継ぎ支援センター、Ｍ＆Ａセンター等外部支援機関の積極的な活用により、事業所の課題である財務内容の改善、販路拡大、人材の確保、事業承継、Ｍ＆Ａ等に事業所と課題を共有し、課題の解決を図ってまいります。 また、日本政策金融公庫、新潟県信用保証協会、地公体、商工会議所、商工会等各種団体との連携により、協調融資や各種経営支援に取組んでおります。

４．持続可能な地域経済への貢献

・青少年図書充実のための支援活動

昭和５３年に当金庫の創立３０周年記念事業として「将来を担う青少年の為になる事業」を行いたいと考え、市及び教育委員会と相談した結果、地域の子供達が言葉を学び、感性や想像力を養う上で大切な読書活動を充実するために、図書購入を支援する基金として、市に 1,000 万円を寄贈し「青少年図書充実基金」が設立され、昭和５８年に更に 1,000 万円を寄贈しました。この基金の運用収益により、市の図書館および小中学校で毎年図書が購入され、読書活動の充実と青少年の育成に利用されております。



・環境問題への取組み

環境問題への取組みが叫ばれている中、当金庫は環境問題に関心を持ち、日々の活動の中で、二酸化炭素排出量の削減、水資源使用量の節減、廃棄物排出量の削減等々により、地域環境、地球環境の保全に積極的に取組んでおります。

平成２１年８月、全店で「エコアクション 21」の認証を取得し、令和８年８月の更新審査でも、全店及びＡＴＭ出張所で「エコアクション 21 ガイドライン 2017 年版」（環境省）の審査に合格と判定され、引き続き認証登録が認められました。



・ＳＤＧｓの取組み

こどものみらい古本募金は、本を使った「こどもの未来応援基金」への仕組みです。「こどもの未来応援基金」はすべてのこどもたちが夢と希望を持って成長していける社会を目指す「こどもの未来応援国民運動」の一環としてつくられた基金です。「学びの機会」や「衣食住」が十分でないこどもたちを支援しているNPOなどの民間団体を応援するために、読み終えた本をご提供いただけます。皆様の本の買取金額により、貧困の状況にあるこどもが貧困の連鎖から抜け出せる可能性があります。また、ＳＤＧｓのゴール１「貧困をなくそう」に取り組むことができます。当金庫は、この考えに賛同し令和５年４月10日からこの取り組みを開始しています。





・働く環境への取組み

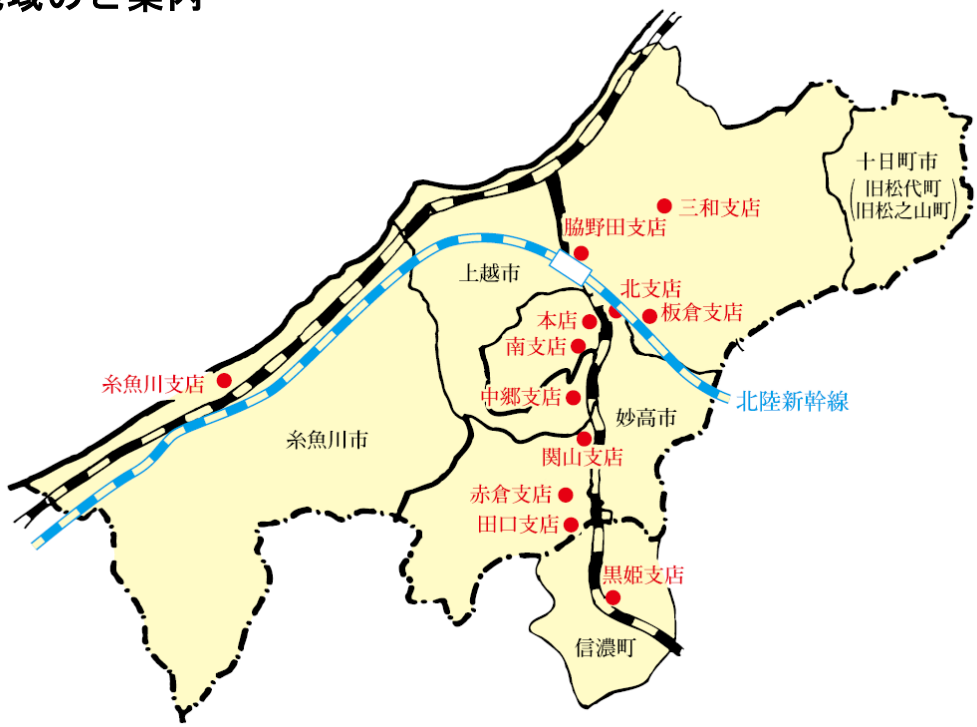
新潟県では、仕事と育児の両立支援や働き方改革、女性の登用・活躍に積極的に取り組む企業を「Ni-ful(ニーフル)企業」として認定し企業の取組を支援する取組み「新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度」を創設し推進しています。認定項目の達成状況に応じて２段階の認定区分があり、当金庫は令和８年９月16日「Ni-ful ゴールド認定企業」に認定されました。

働きやすさと働きがいの両立を目指して、魅力ある職場環境の整備に努めております。



近くて便利な新井しんきん　店舗一覧

■営業地域のご案内



■ＡＴＭ設置状況

店　　内	本店・南支店・北支店各２台，各支店１台		計１５台
店　　外	新井ショッピングモールコア共同出張所	１台	計　２台
	本店営業部下町出張所	１台	

※ＡＴＭ稼働時間【平日】ＡＭ７：００～ＰＭ９：００【土・日・祝】ＡＭ８：００～ＰＭ７：００

■店舗のご案内

本　　店	新潟県妙高市栄町２－３	☎0255（72）3101
田口支店	新潟県妙高市大字関川８－２	☎0255（86）3151
赤倉支店	新潟県妙高市大字赤倉４４８	☎0255（87）2223
黒姫支店	長野県上水内郡信濃町大字柏原 74－1	☎026（255）2578
糸魚川支店	新潟県糸魚川市寺町３丁目９番７号	☎025（552）5566
脇野田支店	新潟県上越市大和１丁目７番９号	☎025（522）1160
中郷支店	新潟県上越市中郷区板橋 466－1	☎0255（74）3201
南　支　店	新潟県妙高市学校町３番２５号	☎0255（72）5128
関山支店	新潟県妙高市大字関山 1673－24	☎0255（82）2200
板倉支店	新潟県上越市板倉区針７９４	☎0255（78）3321
北　支　店	新潟県妙高市柳井田町２丁目８番２６号	☎0255（72）7770
三和支店	新潟県上越市三和区番町 1713－2	☎025（532）4530

当金庫のホームページアドレス
http://www.shinkin.co.jp/arai/

